

第3回中野市美術館 運営準備委員会

期日：令和8年6月26日（金）午後2時

場所：中野市役所5階 会議室51

目 次

- 1 第2回委員会のまとめについて
- 2 展示物について
- 3 観覧料について

1-1 第2回委員会のまとめ（名称等）

○名称等

【名称等】

- ・美術館は大きい建物で登録博物館のイメージがあるので、当該施設は「博物館類似施設」の位置づけのため、「〇〇美術館」という名称ではなく、「文化交流館」程度の名称でよいのでは。
- ・交流館という名称だと、美術作品が展示されているというイメージがわからないので、美術的なものは絵画だけではないと思うが、美術的なものを中心にイメージしてみると、「文化」交流館ではなく「美術」交流館みたいなほうがいいのではないか。
- ・当委員会意見が拮抗しているようであれば、公募制での実施はどうか。（ロゴ等も含む）
- ・「ミュージアム」になると、どちらかといえば博物館のイメージがある。
- ・「芸術」と「美術」では、当該施設には「芸術」が適している。また、「芸術」を「アート」とする表現が現代の感覚に適している
- ・「アート」は、小中学生や園児が作った作品を市民の皆さんに見てもらったりという中で、交流をすることになると思うので、「アート交流館」のような感じで、例えば音楽を聞く交流の場みたいなところのイメージというのもあるような気がする。
- ・名称の一部に「ふるさと」を入れてみては。
- ・話題性で日本一名前の長い名称（66文字以上）はどうか。（例）「信州中野市 松に昔の風が吹く高く青い空にチョウゲンボウの雲切る眼下 ひかる川の恵みとみどり豊かな広大な地に建つ ゆったり時間の流れるみんなの美術館」
- ・話題性で日本一名前の短い名称はどうか。（例）「美」
- ・美術館、図書館、オアシス公園の愛称を3つセットで決めてもいいのではないか。

1－2 第2回委員会のまとめ（開館時間及び休館日等）

○開館時間及び休館日等

【開館時間・休館日】

- ・ 図書館と美術館は一緒の休みの方がよい。（どちらも行きたい。小中学生は土日に運動系スポーツ活動が多く、月曜日は体を休めたい。）
- ・ 時間は、図書館と美術館が一緒にする必要はない。（図書館は勉強する人が多く、美術館との利用目的が違うため。）
- ・ 土日、祝日は同じ時間でもよいのでは。
- ・ 回遊性の把握のため、パーソントリップ調査してはどうか。
- ・ 喫茶スペースは休館日でも営業したほうがよい。
- ・ 小学校等が水曜日に職員会議があり、子どもたちが早く帰るので、閉館日は水曜日以外がよい。
- ・ 図書館と一緒の月曜日休みだと、土日と連続して旅行に来た人たちが来れなくなってしまう。
- ・ 休館日は設けず、年中無休にする。（日本一開館日が多い施設）
- ・ A I 機器セキュリティー等を使用した開館方法はどうか。
- ・ 市内、市外も含めターゲット年代層を絞らないと、開館時間及び休館日が設定しづらい。また展示内容も決めづらいのでは。

1－3 第2回委員会のまとめ（展示物）

○展示物（市が所有する美術品台帳を閲覧後の意見）

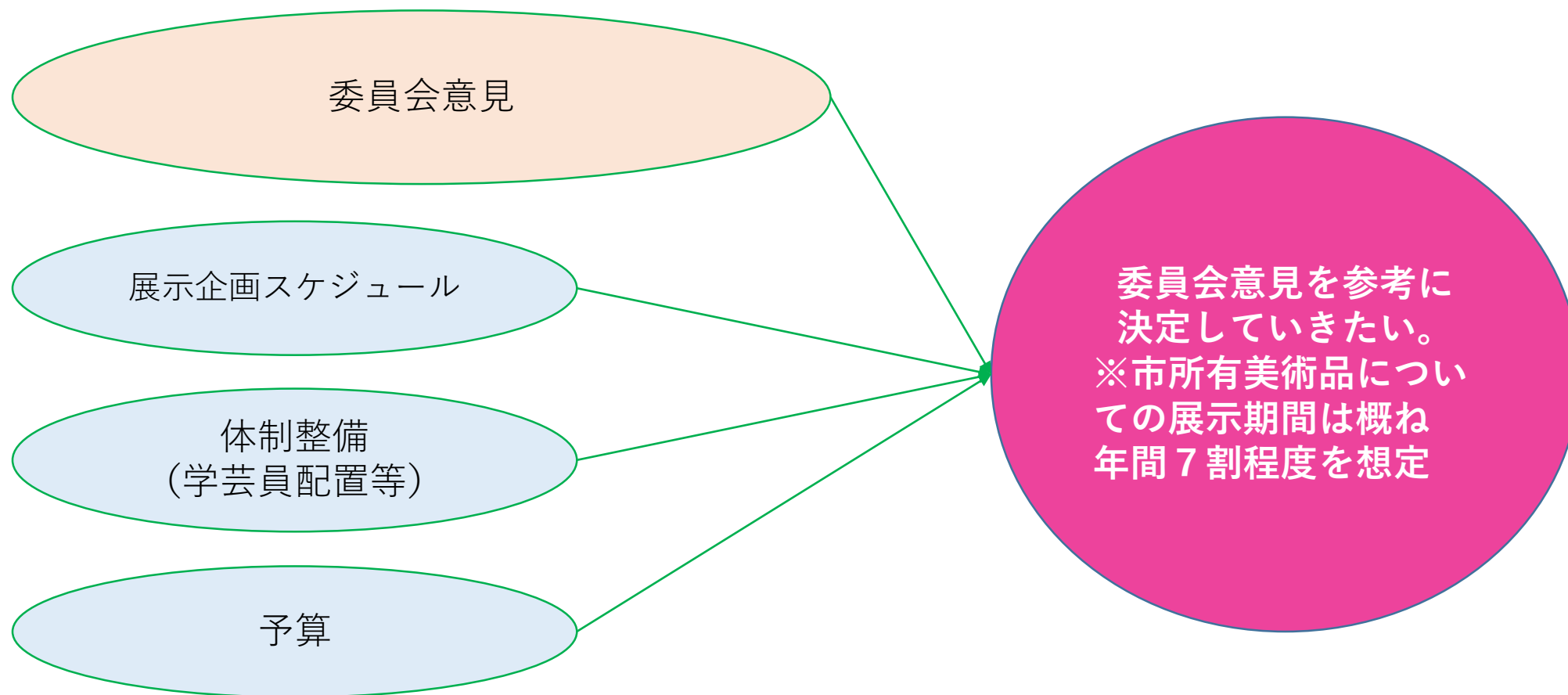
【展示物】

- ・全体的に見ると一度見ればよいかなと思う作品が多々あるので企画次第とを感じる。
- ・1番はどう人を呼ぶかで年齢層もあるが、これを飾ると、市内だけじゃなくて、市外の人も見に行きたいよって思えるものを展示してほしい。
- ・企画次第な気がする。（千曲川シリーズとか高社山シリーズとか北信五岳シリーズとか。）
- ・デジタルアーカイブを取り入れ、投票してもらい、人気作品を展示する。
- ・市所有作品だけでは絶対数がこれだけなので数年で展示作品が尽き、人を呼べる企画を次々打ち出すだったり、人を呼ぶっていうことを考えると、ざっと見たときは弱い。企画については、学芸員が中心にやってもらい、年に何本か企画を立て、その間のハブになるようなものを一般の方に貸しスペースとして貸してレンタル料を得て、休館日にも回していくというような可能性を模索した方が両方からお金をきっちり取れると思う。
- ・市内、市外も含めターゲット年代層を絞らないと、開館時間及び休館日が設定しづらい。また展示内容も決めづらいのでは。
- ・一般の方に美術館の展示スペースを貸すという考えは今のところないのか。

2 展示物について

展示物

○(仮称)中野市美術館建設基本計画の「3.コンセプト」を含めた展示をする。



3 入館料について

※別添資料「博物館類似施設の内、長野県北信地区管内を抜粋」を参照